

# 地域の声を町へ

鶴田町行政推進員と町との意見交換会

## 行政推進員と町との意見交換会

4月22日（月）、町国際交流会館で「行政推進員と町との意見交換会」が開催されました。各地区の行政推進員からは地域の声を代弁してさまざまな意見や要望が出されました。今回は意見交換会の内容の一部をご紹介します。

### 廃校活用について

Q 【鶴寿団地】

廃校の利活用について、地域に活用させてはどうか。芸能、工芸、文化の活動場所として、または地域の団体の利用場所など。

A （総務課長）

学校の統合によって廃校となる施設を活用する場合には、その維持管理に多額の費用が必要となり、老朽化が進んでいる施設が多いため、改修費用も必要となつてきます。施設の有効活用と財政負担を考慮する必要があるため、町では「鶴田町廃校施設等利活用基本方針」を策定し、その活用方法を検討しております。

基本方針では、「町施設としての有効活用」、「避難所機能の維持」、「民間事業者等による活用」、「廃校施設等の解体撤去」を基本的な考え方とし、各施設の方向性を「富浦川小学校―用途転用または売却」、「梅沢小学校―売却または売却」、「胡桃館小学校―用途転用または売却」、「富士見小学校―用途転用または売却」、「水元中央小学校―有効活用」としています。現在、この基本方針に基づき、役場内で活用方法を募集し、各団体からも活用アイデアを募集しているところです。

### 融雪溝の計画について

Q 【みどり町】

融雪溝の設置について、現状と今後のスケジュールについてどのようになっているのかお知らせください。

A （建設整備課長）

統合小学校建設という大きな事業を実施していることや建設整備課の事業として、上下水道や道路建設のインフラも含めた駅東北側造成工事を実施していることもあり、現時点では建設整備課内での検討事項としております。検討内容としては、1. 全体工事費（予算）、2. 町全体としての公平性、3. 個人で設置した井戸枯れや地盤沈下の影響、4. 補助事業採択の有無（費用対効果）、5. その他の雪処理方法や工法、6. 水害対策、7. 事業期間、8. 融雪溝組合の設置等管理運営等々があります。

1. の工事費についてであります。みどり団地内の路線の総延長は、約4300メートルあり、仮に工事を実施した場合、さく井や送水管等も含めた概算工事費は12億円以上必要となります。2. の公平性という面で、みどり団地に建設予算が集中しないかどうか、他の地区とのバランスはどうか等検討しております。3. の井



戸枯れや地盤沈下に対しては今後詳細な調査が必要になると考えており、4. の実施するための事業種別について、費用対効果を検討すると、現在の国の補助制度では、対象事業としての採択はかなり厳しいものと判断されます。5. その他雪対策の方法等について、現在の側溝を利用して水を流す方法や、公園などに消雪のための遊水池を設置し共同の雪捨て場の確保等の検討をしています。6. については水害対策として、排水の流末処理対策などを講じる必要があるものと考えており、このことについても調査が必要になります。以上さまざまな検討をしているわけですが、学校建設や駅東北側造成工事等の目処が立つた後、町の財政状況を鑑みながら、まず現在の側溝の流水方向や融雪のための必要水量などの基本調査が必要であると考えております。



また、今後の除雪対策としましては、これまで以上に全町の排雪頻度を上げて雪対策に対応して参りたいと思います。

## カーブミラーの設置について

**Q** 【本町】  
カーブミラーの設置をお願いいたします。（喰いしん坊食堂の向かい側）十字路のため、危険です。

**A** 【町民生活課長】  
カーブミラーの設置につきましては、毎年、町交通安全協議会の各支部が要望を取りまとめ、五所川原警察署、西北地域県民局、当町の建設整備課等関係機関が合同で現地を確認する道路診断を実施した後に緊急性や優先順位を考慮した上で着手していくこととなっております。

今回の要望については、地域の担当である協議会の鶴田支部と一緒に対応して参りますが、要望の詳細について再度確認することもあると思いますので、ご協力お願いします。

いたします。

## 町民ふれあいスポーツフェスティバルについて

**Q** 【大巻】  
スポーツフェスティバルの見直し（中止）を要望します。理由として人口の減少、子どもたちのスポーツ大会などで親も参加できないため。

**A** 【教育次長】  
全国的な少子高齢化は当町においても例外ではなく、各町内会においてはスポーツフェスティバルへの参加に向けた選手の確保に大変ご苦労されていると聞き及んでおりますが、町民が一堂に会してスポーツに親しみ、健康保持・増進を図りながら町内会の親睦を深めるイベントは大変有意義なものであると考えております。

今回のご意見をもとに、町としても体育協会並びにスポーツ推進委員と協議しながら、各町内会においてより参加しやすく、楽しんでいただけるスポーツフェスティバルの開催を目指して検討を継続

してまいります。

## ふれあいセンター修繕について

**Q** 【胡桃館】  
昨年の町との意見交換会にて、10万〜30万円の修繕代金は各集落が負担するものとなっていました。その後どのようにになりましたか。

**A** 【教育次長】  
ふれあいセンター等の修繕については、昨年の意見交換会でのご意見を踏まえ昨年6月に施設の管理運営を行っているふれあいセンターおよび文化センターの指定管理者の方々に対象に施設の管理費用の負担区分に係る会議を開催しております。

協議の結果、建物本体および設備については1件あたりの費用が5万円以下の場合は指定管理者が、5万円を超える場合は町が負担することとしたほか、備品等については指定管理者が、外構等については町がそれぞれ負担することと決定し、決定内容について改

めて昨年10月1日付けで指定管理者の方々に文書でお知らせしております。

なお、会議および決定内容のお知らせについては施設の管理運営をお願いしている各集落の指定管理者の皆さんを対象に行ったことから、管理運営を町内会とは別の団体で行っている集落については行政推進員さんへの周知がなされておりました。ご意見を踏まえ、あらためて施設が所在する行政推進員さんにも決定内容をお知らせしておりますのでご理解をお願いいたします。

## ふれあいセンター運営経費の助成について

**Q** 【天性】  
ふれあいセンターの運営は各町内会が施設利用者からの収入と町内会からの一部助成で運営しているが、近年施設利用者が激減しており、施設の運営が厳しい状況です。町当局として、将来的に運営に係る光熱水費等の基本経費について助成を検討してもらいた

**A** 【教育次長】  
町としては、将来的なふれあいセンター等の運営のあり方について、今後検討していきたいと考えていますが、各集落においてもふれあいセンター等の利活用の促進および使用料の見直しの検討など使用料収入の確保に務めていただきますようお願いいたします。



令和元年度 鶴田町行政推進員	
町内・集落名	氏 名
派 立	齋藤 恭藏
寺 町	竹浪 秀治
仲 町	上原 英夫
本 町	長内 光男
駅前通り	澤田 直廣
田中町	鶴谷 和美
桜 町	松山 久志
富士見町	月永 洋子
公園通り	藤田 哲也
文化通り	渋谷 和幸
鷹ノ尾	藤田 保
相原町	永田 房男
みどり町	澁谷 兼幸
あさひ町	浅利 繁
駅東町	佐々木 年一
大 性	三浦 行雄
菖蒲川	野宮 行雄
鶴 泊	三浦 清勝
亀 田	坂本 康博
新田子	坂本 春義
大 巻	嶋谷 勝廣
強 巻	小田桐 貞三
胡桃館	花田柳 太郎
境	奈良 幹夫
中 野	工藤 義孝
山 道	一戸 雅人
桂 井	須藤 貞夫
稲 川	石村 吉広
尾 原	須藤 繁喜
田の尻	岡 雄一
野 木	浅利 治一
間 山	成田 豊昭
木 筒	小山内 英樹
鶴寿団地	木村 敏夫
前中野	鏡谷 聖
後中野	川村 和雄
掛 元	天坂 則行
米元（共栄）	長谷川 隆
稲 元	石澤 秋彦
東瀬良沢	伊藤 誠二
西瀬良沢	成田清 四郎
沖	佐々木 明
横 范	花田 正俊
松 倉	安田 隆